

## 県民の森の植物 70 ツルシキミ (ミカン科 ミヤマシキミ属)

常緑低木。北海道や本州の日本海側の多雪地帯に自生し、冬は雪の下で過ごしています。積雪に耐えられるように茎の下部は地を這い、枝はしなやかで折れにくくなっています。雌雄異株。花は5～6月頃。雄花のほうが華やかに見えます。果実は最初は緑色、熟すと赤くなります。美味しそうに見えますが果実や全草にアルカロイドを含み、有毒です。同じ環境で見られる常緑低木のヒメモチ（モチノキ科）とよく似ていますが、ヒメモチは葉腋に花を付けて実が出来るので区別できます。県民の森ではAコースや七滝登山道で見られます。木々の落葉後の初冬や雪融けの春には、常緑の葉がよく目立って存在感抜群です。



【雄花】 5/24



【雌花】 5/18



【若い果実】 8/19



【熟した果実】 9/16



【左】ツルシキミ 【右】ヒメモチ



【来春に芽吹く花芽】 11/4